

////////////////////////////////////  
いわて マナビィ マガジン

No.169 2018. 10.16

////////////////////////////////////  
テレビでは、スタッドレスタイヤのコマーシャルが、10月前半から流れ、早くも「冬の備え」といった感じです。今年の冬は昨年よりも降雪量が少ないことを期待しているのですが、「夏が暑い年は、冬の雪が多い（寒い）」とされているようです。

さて、今回のマナビィ マガジンは、「推進センター事業の報告」と「奥州市・学校支援ボランティア研修会」について報告をいたします。

\*\*\*\*\*

#### センター事業報告

\*\*\*\*\*

#### ◆第2 回岩手県放課後子ども総合プラン指導者合同研修会

【実施日】平成30年9月28日（金）

【会場】岩手県立生涯学習推進センター（花巻市）

#### 【内容】

○講演『『気になる子』を伸ばす魔法の言葉かけ』

[講師] 自閉症療育アドバイザー shizu 氏

※指示を出すときの言葉かけや問題となる行動への対処法について講師の事例から学びました。

○実践発表・演習『『気になる子』を伸ばす学びと遊び ～accommon

のまなびのHIROBA・あそびのHIROBAの実践から～』

[発表者] NPO法人 accommon 理事長 成田 礎野美 氏

一関修紅高等学校 教諭 清田 博美 氏と高校生アシスタント

※今までの実践を紹介していただきながら、実際に体験し、学習支援の工夫や配慮の仕方などについて学びました。

---

#### 【受講者からの感想】

・講演、演習ともに共通して「ほめる」「笑顔」「自己肯定感」など

ポジティブなことばかり出ていたので、前向きな気持ちになりやすく話も聞きやすかった。(放課後児童クラブ関係者)

・講演から具体的な対応を知り、根本となっている考え方も理解できた。実践発表では、外部(学校外)の活動について広く知ることができて良かった。(中学校教諭)

・1対1での対応や少人数での対応という視点では、場面ごとの声かけや関わり方が違うということを改めて知ることができ、大変参考になった。(小学校教諭)

---

◆子どもの学びを支えるセミナー「青少年教育担当者研修会」(県北会場)

【実施日】平成30年10月5日(金)

【会場】久慈地区合同庁舎(久慈市)

【内容】

○演習Ⅰ「コミュニケーションを円滑にするアイスブレイクの手法」

[講師] 岩手県立県北青少年の家 研修班長 吉田 智 氏

※様々なアイスブレイクを実際に体験しながら、コミュニケーションが円滑になる雰囲気作りを学びました。

○演習Ⅱ「関係づくりプログラムの手法」

[講師] 国立岩手山青少年交流の家

副主任企画指導専門職 上村 佳邦 氏

事業推進係長 田口 康宏 氏

※アドベンチャープログラムの手法を取り入れた体験をとおして、集団で活動する際の人間関係づくりについて、学びました。

○情報交流「ネットワークをつくりましょう！」

[進行] 県立生涯学習推進センター 社会教育主事 丹 康浩

県北教育事務所 主任社会教育主事 西野 悟

県北教育事務所 社会教育主事 佐々木 正輝

※青少年教育に携わる関係者同士のネットワークを広げながら、より良い事業を考える時間となりました。

---

【受講者からの感想】

・いつも子どもたちは、それぞれで遊んでいるので、月1回の誕生会では皆で遊べるものを実施したいと思っていた。今日はたくさんの手法を教えていただき、有意義な研修となった。(子ども会育成担当者)

・「グループの成長が、個人の成長へ更に広がりを持たせることにつながる」というお話が印象的だった。今回の活動では、言葉や体を使いながら、自然に笑顔で結びつくような内容だったので、素晴らしかった。(学童クラブ職員)

\*\*\*\*\*

平成30年度学校支援ボランティア研修会(奥州市)の視察から

\*\*\*\*\*

9月27日(木)、奥州市江刺西体育館・研修室において、「平成30年度学校支援ボランティア研修会」が開催されました。この研修会は、奥州市教育委員会が主催し、実施したものです。

市町村独自で「学校と地域の連携・協働」に関する研修会を行っているところはまだ少ないことから、当センターの研究の参考にさせていただくため、視察してきたものです。内容や進め方等、今後の連携・協働のあり方を考える上で大変参考になる研修会でした。

以下、概要と所感を掲載いたします。

---

1 【趣旨】

学校支援ボランティアとして必要な知識について理解を深めるとともに研修を通じて学校支援ボランティアの資質向上及びボランティア間の交流を図る。

2 【対象】

地域コーディネーター、学校支援ボランティア、学校支援ボランティアに関心のある方

3 【内容】

○講演「学校支援ボランティアを行う前に知っておきたいこと」

[講師]奥州市教育委員会学校教育課 主任指導主事

※学校支援ボランティアとして活動する際に知っておきたい内容や心がけについて学びました。

○実践発表「ペープサート鑑賞～小さなサンと天の竜～」

[発表者]奥州市立水沢中学校支援地域本部「ままだ～る」

※魅力ある活動であるペープサートを実演したものを皆で鑑賞しました。

○ワークショップ「業間休みを利用した装飾づくり」

[講師]奥州市立江刺第一中学校支援地域本部 地域コーディネーター

※子どもたちとの装飾づくりの活動の様子を聞いたり、実際に装飾づくりを体験したりしながら、ボランティア同士のまなび合いの時間となりました。

---

#### 【所感】

・この研修会は、奥州市でも初めての取組であり、参加者がどのぐらい集まるのか不安であったようだ。結果的には、総勢 46 名もの参加があった。

・奥州市では、5 中学校（水沢、東水沢、水沢南、江刺第一、胆沢）に地域本部を置き、学区内の各小学校を支援する体制が整っている。

・今回の研修会を提案したのは、コーディネーターの方たちであり、内容についてもコーディネーターから出た要望をもとに教育委員会が実施したものであった。常に情報交換を重ねながら、連携をとっている様子であった。

・この研修会は、本県におけるコーディネーター養成研修の 1 例になると考える。



このメールマガジンは、県内小中学校、社会教育関係者及び生涯学習・社会教育に関心を持たれている登録者の皆様に無料で配信しています。ご意見・ご感想、登録・登録解除は下記アドレスにご連絡

ください。⇒ E-mail ; [kouji-kumagai@pref.iwate.jp](mailto:kouji-kumagai@pref.iwate.jp)

メルマガのバックナンバーをセンターHP「まなびネットいわて」  
で閲覧できます。⇒ <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

左下の「発行物・刊行物」>「いわてマナビィマガジン」をクリック

★ 携帯・スマホで受信の場合、メールが届かないことがあります。  
迷惑メール対策として、特定の発信者からのメールのみを受信するド  
メイン指定受信機能と思われます。受信設定の指定メールアドレス欄  
に「[pref.iwate.jp](http://pref.iwate.jp)」の設定をお願いいたします。



発 行：岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口 2-82-13）

編 集：熊 谷 浩 二